

経営比較分析表（平成28年度決算）

鳥取県 鳥取市

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（%）
法非通用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
-	-	-	1
その他発電所数	料金契約終了年月日	F I T 適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	平成40年3月31日 鳥取市青谷町11号原太陽光発電所	平成40年3月31日 鳥取市青谷町11号原太陽光発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（%）※1		
株式会社とっとり市民電力	100.0		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことを客観的に明かせるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	H24	H25	H26	H27	H28
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	541	622	573
太陽光発電	-	-	541	622	573
合計	-	-	541	622	573

年間発電電力量収入（千円）	F I T 以外	F I T	合計
-	-	24,738	24,738

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）

剰余金は、将来の支払利息、機器更新費用等に備え、下記の基金への積立を行っている。

基金への積立金：18,145千円

積立金の名称：鳥取市電気事業基金

積立金の目的：電気事業を円滑に実施するため

次年度への繰越金：100千円

分析書

1. 経営の状況について

収益的収支比率・・・平成25年度に事業を開始。平成26年度は売電収入を得るとともに、前年度の多額の設備投資に伴う消費税還付があり、一時的に総収入が増加した。平成27年度以降は、当初想定範囲内の営業収益を得て経営指標の収益的収支比率100%以上を確保しており、今後も同水準を維持する見込みで、安定した経営が可能である。

営業収支比率・・・平成27年度から消費税の支払いが発生し、営業費用が増加したことにより、営業収支比率は下落しているが、営業収益は堅固である。平成28年度以降も当初想定範囲内の営業収益を得ており、今後も、経営指標の営業収支比率100%以上を確保できる見込みである。併せて、更新投資等に充てる財源として基金積立もを行っている。

供給原価・・・年間発電電力量は横ばいで、供給原価も同様であり、全国平均値より低水準を維持している。平成29年度以降も維持管理費等の削減に努め、原価削減を目指す。

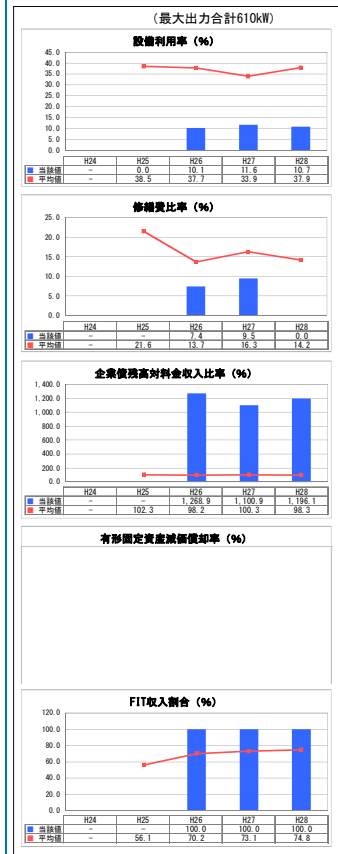
EBITDA・・・平成25年度の事業開始で多額の設備投資があったため、平成26年度は消費税還付による収入があったが、平成27年度は消費税納付が始まったことで、総収益は減少し、総費用が増加している。これにより、EBITDAも下落したが、平成27年度・平成28年度と横ばいで、以降も特殊事情の発生はなく、安定した収益が確保できる見込みである。

1. 経営の状況



2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

設備利用率・・・全国平均値には及ばないが、平成26年度から平成28年度まで横ばいであり、堅固な利用率を維持している。計画とおりの施設運用が行えている。

修繕費比率・・・平成27年度は、全国平均を上回っているが、これは計画的な維持管理に要する費用であり、平成28年度においては修繕は発生していない。今後も効果的な修繕を行い、修繕費の抑制に努めている。

企業債務高対料金収入比率・・・平成25年度に事業開始したが、企業債の償還については期償を行っているため、全国平均値より高くなっている。平成29年度以降に企業債元本償還を開始するため、以降の比率は緩やかに減少する見込みである。これは、設備建設当初からの計画に基づく範囲であるが、同時に、将来の償還財源の確保等の経営改善に向けた取り組みを継続している。

FIT収入割合・・・FIT収入に依存しており、固定価格買取制度の順延期間終了後の収入減少リスクがあるため、終了予定の平成45年度に向けてリスク対応の検討を進める。

全体総括

現状では、当初想定どおりの経営が行われており、投資回収不能リスクは低い。早期の事業中止又は民営化等の検討は現時点では考えていない。しかし、FIT収入に依存しているため、課税期間終了後買取価格の下落による収入減少というリスクも抱えており、経営戦略の策定を通して今後の対応を検討していく。

※ 平成24年度から平成28年度における各指標の全国平均値は、当時の国体誌を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債務高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成28年度の国体誌を基に平均値を算出しています。